

令和5年度をふりかえって

社会福祉法人志和大樹会は平成11年3月に設立、平成12年4月に開所してから令和5年度は24年目の事業を終えました。職員は「目配り」「気配り」「思い遣り」を心に、サービスを利用している皆様が健康で安心して暮らせるように取り組んできました。

令和5年度は国内で自然災害の多い年でありました。春には秋田県中心に線状降水帯による集中豪雨、夏は全国的猛暑となり農産物の生育に大きな被害が出ました。1月1日には能登半島地震で260名の方がお亡くなりになりました。今なお復旧復興の支援が行われているところでもあります。当法人では感染症や自然災害時での事業継続計画(BCP)を令和4年度に策定しました。今後も利用者の安全を第一に事業運営を進めて参ります。

令和5年5月に第5類に引き下げられたコロナ感染症ではありますが、その予防策として消毒と換気の継続、予防接種は2回6月と9月に行いました。施設内で8月下旬から利用者職員19名罹患しましたが1ヶ月で終息しました。ご家族の皆様にも面会時にご不便をおかけしておりますが、安全確保にご理解ご協力を頂いております。

さて、令和5年度は、収入4億4,777万円 前年度比+1,075万円（内訳：介護保険事業+657万円で補助金等+418万円）事業活動支出4億5,543万円 前年度比△291万円（内訳：事業活動資金収支△693万円は前年度比+1,372万円）リース代を含む施設整備等収支A499万円と合わせ、当期収支差額△1,193万円 前年度比+552万円となりました。改善が見られたものの、今後とも一層の稼働率向上と事業支出見直しによる収支の良好なバランスを目指して参ります。

令和6年度は、稼働率向上を目指し職員が改善策を提案し、進めており、6月からは看取り介護加算並びに配置医師緊急時対応加算（定期往診以外の診療）取得と、令和6年度は3年毎の介護報酬改定の年であり事業収益改善を目指します。また、高校新卒者採用を募集登録並びに近隣高校への訪問も行います。全てのサービス利用者と地域の福祉事業の拠点施設としての使命を果たして参りますので今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和6年6月

社会福祉法人志和大樹会 理事長 細川 博明